

蔵増北壮年会だより  
発行第27号  
平成6年 2月25日



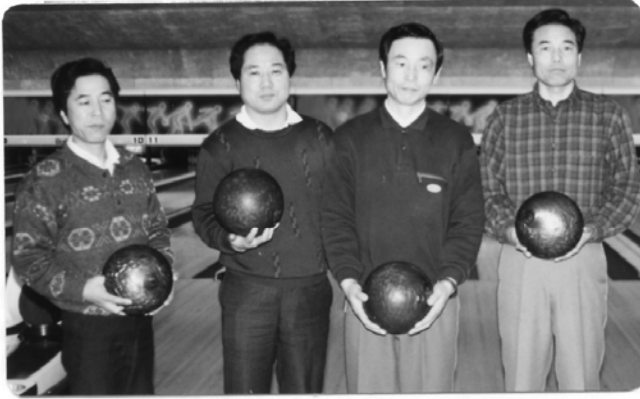
# そうねん

発行人 会長 蔵増 幸義  
庶務 渡辺 渡貴雄  
編集 機関紙編集委員



火の粉よ 舞い上がれ 天高く 災いなく 皆の幸せと 地区の発展を願って

(94' 2. 11 御柴灯にて)



# ベテランパワーで 花の23年組 準優勝

## ▷ 蔵増地区壮年会ボーリング大会 ◁

△野球でもボーリングでも、ワザで決めます

一月二十三日、初の蔵増地区壮年会ボーリング大会が開催された。この大会は、昨年までの、どちらかと言えど選手層に限られた種目であった卓球に代わり、より沢山の人が参加しやすい企画をとう発想で催され、八十名近くの人が参加した。北からは三チームが参加し、Bチームが総合力で準優勝に輝いた。特に昔とった杵づかで、花のお兄さん(二十三年代生れ)組の先輩方が堅実にストライク、スペアを叩き出し、若い人が舌をまく場面も。先輩方は得意満面の顔でまだまだ若いものには：：。とニンマリ。参加者に大変好評で次につながる企画だった。

十二月十二日、第二回北壮年会ボーリング大会が開催された。昨年度初めて開催された。好評を受けて、前の回を上回る三十九人の参加があった。参加者は、壮年会員のみならず、奥さん、子どももOK。日常生活では顔を合わせることも少ない、人と人、世代間の交流、そして地域の融和にもつながっているようだ。ゲームは、二ゲームトータルで競う。トップになった奥山正男さんは、6フレーム連続ストライクを放ち、周囲を唖然とさせた。表彰式、反省会ではもちろん気持のこもった景品が配られ、

## 劇的6連続ストライクで奥山正男さん初優勝

### ◇◇ 第2回北壮年会ボーリング大会 ◇◇



行く先はボールに聞いて  
△ 東海林久美さん(北3)

十二月十二日、第二回北壮年会ボーリング大会が開催された。昨年度初めて開催された。好評を受けて、前の回を上回る三十九人の参加があった。参加者は、壮年会員のみならず、奥さん、子どももOK。日常生活では顔を合わせることも少ない、人と人、世代間の交流、そして地域の融和にもつながっているようだ。ゲームは、二ゲームトータルで競う。トップになった奥山正男さんは、6フレーム連続ストライクを放ち、周囲を唖然とさせた。表彰式、反省会ではもちろん気持のこもった景品が配られ、



◁ 6連続ストライクに大興奮  
すごい・お父さん・すごいよ!

第2回ボーリング大会成績 (39名参加 2ゲーム)			
優勝	奥山正男	345点	
2位	菊地義盛	319点	
3位	森山義典	292点	
4位	山川富雄	291点	
5位	土屋安二	285点	
☆☆☆	ハイスコア	☆☆☆	
	奥山、菊地さん共	215点	

い疲れを味わいながら懇親を深めていた。

一月十七日、第十五回蔵増北新春将棋大会が多数の愛好家が参加し開催された。午前中は四人一組の予選リーグが行われ、各ブロックで二勝以上した七名が決勝トーナメントに進み、六名が敢闘トーナメントへと分かれた。午後から各トーナメ



△ 佐藤さんは通算三度目の優勝

# 歴代優勝者の決勝 佐藤繁雄さんが制す

◇◇ 蔵増北新春将棋大会 ◇◇

ントで熱戦が展開された。決勝戦では、佐藤繁雄さんと森山喜四郎さんの歴代優勝者の対局とな

った。見ごたえのある指し手が繰り広げられ、その結果、佐藤さんが通算三度目の優勝を飾った。敢闘トーナメント準決勝戦では、まれに見る親子対決の末、前回優勝者の鈴木清雄さん（優勝経験者のため角落ち）を息子の鈴木裕

一君が破り、大物ぶりを証明した。（清雄さんは、たまたま間違つて駒を指してしまったと言いつけるが。）その裕一君、決勝戦では惜しくも届かず、佐藤政幸さんが一位となった。和やかな雰囲気の中にも真剣さが表れた大会だった。



▷ こういうとお父さんがああくるからあっ そうだ いい手がある

新春将棋大会成績	
決勝トーナメント	敢闘トーナメント
優勝 佐藤 繁雄	一位 佐藤 政幸
二位 森山喜四郎	二位 鈴木 裕一
三位 渡辺 秀治	

## 地区バレーボール大会参加

十一月二十八日、市スポーツセンター総合体育館アリーナで蔵増地区のバレーボール大会が行われ、後藤賢次主将を中心にしてがんばった。チームワークと元気の良さはどこにも負けない北だったが、三位決定戦で中チームに惜しくも破れた。



△ 試合後の懇親会でも将棋の楽しさに花が咲きます

# 三年振り

## ゴールドメダル

▽ 地区駅伝大会優勝 △

北は、昭和六十一年から六十三年まで三連覇を飾り、平成二年にも優勝。壮年会からは奥山正男、土屋博明さんが出場し、優勝旗奪還に燃えた。

### 引き継いだトップ

奥山 正男

四十歳代の走者に選ばれ、チームのプレキにならないよう慣れている七区を走った。土屋博明君から一位で赤いたすきを受け、アンカーの早坂君になんとかトップで引き継いだ。ゴール地点で、「ヤッター優勝だ！」とチームの人々と喜び合った。駅伝に参加して五回目の優勝だ。応

援していただいた皆様  
に感謝したい。

### 力の限界まで

土屋 博明

数年振り  
に駅伝  
参加とな  
りました  
が、全て  
のスポー  
ツに共通  
する年齢  
の障害に  
対し、私  
なりに四  
十歳が体  
力低下の  
基点では  
ないかと  
思ってい  
ます。三  
十代も終



△ 力の限り走り 輝く栄冠を掴む

わりに近い現在、大会直前の練習方法や、休養時期等、自分の体力に合ったメニューを考えないと、ベストにもっていき事が難しくなってきたようです。そういう意味で、出し切る力の限界まで挑戦していく事が、私の走ることへの生きがいと考えています。

## わたしの作品

壮年会書道部の中で夫婦で「書」を楽しんでいるのが秋保栄さんである。書道部発足以来、

だったが、ここまで継続してやってこれたのも偏に岩月先生のお陰です。先生には感謝の念に絶えません。」と話す。「書」は人の性格を表すと言うが、栄さんの書からは、大らかさと、力強さが伝わってくる。最近、部員数も少しずつ増え、すっかり定着した書道部。陰で支えてくれた人達に報いるため、これからもみんなで盛り上げて行きたいものだ。(東海林)

以誠接  
萬事

竹茂 弘

秋保竹嶺(栄)さんの作品  
「以誠接萬事」  
誠を以て万事に接す



# 堅実まで 鈴木清雄さん 初優勝

〇〇 麻雀クラブ新春大会 〇〇



△ こんごらがった頭をほぐしましょう ハイ乾杯!

第三回大会は、鈴木清雄さんが初優勝を飾った。鈴木さんは序盤からピッチを上げ、それを佐藤武志、博雄、土屋強さんが追った。最終回、優勝を

賭け対峙したのは、鈴木さんと土屋さん。気合い一番、満貫で先行したのは土屋さん。しかし、そこをグッとこらえ勝機を待った鈴木清雄さんが流れをつかみ優勝をさらった。前回は温泉での大会だったが、今年は日程調整がつかず地元での開催。頭を柔らかくするにもやっぱり温泉がいいな...と部員の声。

「正直あまり良く分からないが、良かったな、と思ったことは蔵増北の一員になった感じがすることかな。部活動を通して仲間も増え、仕事を離れて楽しんでいる」と言う。仕事は電気屋さん。とても器用な感じがあるので、子どもの頃の様子を聞くと、

## 紹介します

# この人

北 一  
鈴木清雄さん



壮年のイメージは？と聞くと、「あつたので、次第に興味を持った。音が出るまでの道のり、何とも楽しくてね。木をくり抜いた自作の船にモーター付けて遊んだりもした。一つの物を夢中で作り、出来上がった時の嬉しさって、今でも覚えている。今の子どもたちにも工夫した遊びをやってほしいと思いますね」と話す。子どもと言えば鈴木さんは、育成会長や、スポ少野

「中学生の頃、父（清さん）がラジオをいじったりしていたこともあり、ラジオの本が家に

球の保護者会長も勤めた。その時を振り返り「可愛い子どもたちと共同の活動、生活を共にし、楽しかった。今でも会うと挨拶してくれますよ」と語る。次期将棋部長に内定との事。所信は？と聞くと、「何でも楽しくやること。楽しいことやって地域の仲間づくりを広げていきたい」と屈託なく語った。

▲持駒 角 金 桂  
〇 解答は六ページ

5	4	3	2	1
			将	皇
			王	
			将	将
	将	将		
			歩	

☆ 詰めの将棋  
将棋クラブがあなたに挑戦

# 地域に汗する。

は、初代壮年会長も勤め、現在は北公民館長として活躍中。

主な事業としては、老人クラブと協力しながら行う公園の花いっぱい運動、夏祭りでの金魚すくいや、最も大きな事業であ

私たちがいつも利用している北公民館。その中で様々な人間模様が繰り広げられる。地域活動の拠点として欠かせない。それを管理運営しているのが佐藤良蔵さんである。

## 地区発展は

### 私たちの手に

#### ▷すばらしきボランティア◁

北区連合会と連携を図りながら、全般を把握しなければならないのでやりがいがある。」と語る。

今まで行った事業で大変だった事は、との

る地区レクリエーション大会、地区文化祭芸大会、分館對抗駅伝大会等がある。

「まだ経験も浅いので何も分からないが、各種団体と協力し合い、



お話を伺って、私達がこの地に住む限り、地区を発展させるか否かは私達の手にかかっているのだとつくづく感じた。

問には、「地区レクリエーション大会、駅伝大会等の選手を集める事だった。私ひとりではできないので、北区を盛り上げる為にも是非ご理解とご協力をお願いしたい。」と話す。

苦あれば楽あり。それが実を結んでレクリエーション大会リレー優勝、駅伝大会優勝。喜びもひとしおだったそう。

北公民館長

佐藤良蔵さん（北三）

## これからの行事

▽二月二十七日（日）

市連合青壮年会将棋大会

▽同日

北壮年会総会

## ご苦労さま 公民館雪片付け

今年、二月二日から連日のドカ雪で、毎日の生活にも混乱を来す日々でした。それでも、壮年会のみなさん（今回は北三）の作業奉仕で公民館前の雪がきれいに片付けられました。本当にありがとうございました。

- ⊕詰め将棋の回答⑩
- ▲3四桂     △3二玉
- ▲3三金     △同桂
- ▲4三角     △同玉
- ▲4二桂成

（七手詰め）

## あとがき

▽平成五年は激動の年だった。百年に一度と言われた冷害で農家が泣き、五十五年体制と言われた政治体制が崩壊した歴史的な年だった。

▽バブルが弾けた後の不況。戦後最悪という企業ではリストラ（再構築）が叫ばれ、職場を守る事さえ厳しい。

▽今年「戌」年。バネのようにすっかりした足腰を身に付け、長い不況をいち早く抜け出るとともに、農家にも明るい顔を取り戻してほしいものだ。

▽犬と言え、猫の話もある。昨年、公園のクズ籠の中に、ビニール袋に閉じ込められ、生きた子猫が捨てられていた。猫はゴミクズなのでしょいか。小さくても命。ポイ捨てはしないでしよう。（秋保）

表紙題字 書道部長 奥山正男書